保護者向け学校通信

創る

令和８年
２月２０日（第２１号）
学校長　村松　章史

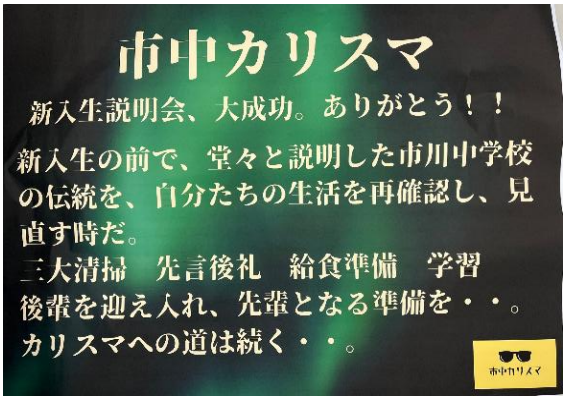
菜の花が咲いた　山田さんが
毎日手入れしてくださる花壇

「先輩になる」心構えと行動

入学説明会の取組を通して（１学年）

２月１６日（月）に、来年度入学予定の皆さんに向け、入学説明会を行いました。本来であれば２月４日（水）に開催の予定でしたが、小６のみなさんにインフルエンザが拡大していたことから延期し、１６日に開催しました。※保護者のみなさんに対しては４日に行いました。

市川中では、中１が小６への説明を行っています。１年生は、３学期が始まってすぐに「市中カリスマ」をテーマに掲げ、取組を進めてきました。当日は、学校生活の説明と校舎案内をグループに分かれて行い、６年生と楽しく交流しながらも頼もしくリードする姿に、先輩らしさが感じられました。



「立場が変わると心構えが変わる」
「心構えが変わると行動が変わる」

２年後には中学校の課程を修了し、高校や次のステージに向かうことになります。残された日々は７４０日ほどしかありません。これを「まだそれだけある」と思うか「もうそれだけしかないと思うか」、それは人それぞれだと思いますが、限られた時間であることは言うまでもありません。その中で、どんな「カリスマ」になっていくのか、とても楽しみです。

2.13 読み聞かせの会　清水好美さんを講師に

２月１３日（金）には、図書委員会の取組として「読み聞かせの会」を開きました。今年度は毎学期に読み聞かせの会を行い、ＡＬＴのシャーウィン先生から英語で絵本を朗読していただくなどの取組を行ってきました。今回はラジオアナウンサーをはじめ多方面で活躍している清水好美さんをお招きし、『こども六法』と『詩の本・たゆたゆ』を朗読していただきました。「声」を通して伝わってくる作品の内容はもちろんのこと、「声」によって伝わる心地よさが感じられ、生徒や教職員にとって伝え方の大切さも感じる時間になりました。

朗読は、読む側にとっては脳の活性化につながり、聞く側には豊かで穏やかな心が育まれると聞きます。生徒たちはもちろん、大人の私たちも、声に出して読むことを意識していきたいものです。

←清水さんは「甲州弁ラジオ体操」のナレーションでも知られている方で、会の中では、実際のナレーションによるラジオ体操も行いました。